



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

能登半島地震に係る募金活動で、子ども達が活躍！

6年生からの募金の提案を、児童会の代表委員会で話し合い、学校として募金活動に取り組むことになりました。右下のような、手書きのお便りを作り、全校生に呼びかけたところ、3日間という短い期間にもかかわらず、106,366円ものお金が集まりました。「被害を受けた方々のために募金したい。」「東日本大震災の時、福島県は全国から支援していただいた。今度は私達が助ける番だ。」こうした子ども達の気持ちが伝わった結果と考えます。

お金は、町の社会福祉協議会を通じて、共同募金会へ届け、被災地のために役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。また、募金箱を快くお貸しいただいた、社会福祉協議会の皆様にも心より感謝申し上げます。



坂下南小学校の児童のみなさんと
おうちの方へ 令和6年1月29日
坂下南小学校代表委員会
能登半島地震に関する
募金のおお願い
令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、
多くの被害が起きました。3学期になって、坂下南
小学校では、6年生から募金の提案があり、児童会
の代表委員会で話し合い、学校として募金活動
を行うことを決めました。私達が生まれる前に起
きた東日本大震災でも、福島県は多くの方々に助けてい
ただいたそうです。今度は私達が今回被害にあつた方
々を助ける番です。児童のみなさんや おうちの方のご協力
をお願いします。
1 募金期間 令和6年1月30日(火)～2月1日(木)の3日間
朝8:10～8:15
2 方法 代表委員会の4～6年生が、募金箱を持って各
教室を回ります。

町の社会福祉協議会の方へ募金をお渡ししました。

教室を回って募金を呼びかける6年生児童。

募金協力を呼びかける児童手書きのお便り。



バトンをつなぐ子ども達

子ども達は、登校班や縦割清掃班で、「よい目」「よい耳」を使って、先輩の動きを見て学んでいます。また、鼓笛の練習でも、子ども同士で教え合い学び合う姿がたくさん見られました。3月1日の6年生を送る会では、鼓笛というバトンがしっかりと引き継がれることと思います。こうして本校の良き伝統（バトン）が、先輩から後輩へとつながれていきます。



6年生の朝のボランティアのやり方を、メモしながら見ている5年生

鼓笛の引き継ぎでも、上級生が下級生にしっかり教えていました。

朝のボランティア活動と登校班の班長等の役割は3月6日から切り替わります。

